

2020年6月23日

2020年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志舎
東京IT会計専門学校杉並校
学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「2019年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。
その結果を以下の通り報告いたします。

1. 2020年度学校関係者評価委員会

<委員> (五十音順)

| | |
|--------|---|
| 青山 文彦氏 | 立志舎高等学校 教頭 |
| 麻生 昌宏氏 | 日本NCR株式会社 カスタマー・サービス本部 フィールドオペレーションズ東日本 東京第四 マネジャー |
| 富澤 武幸氏 | 特定非営利活動法人東京高円寺阿波おどり振興協会 専務理事 事務局長 |
| 中野 弘之氏 | リコージャパン株式会社 販売事業本部 首都圏MA 事業部 産業第二営業部 営業2グループ リーダー |
| 林 成治氏 | あかり監査法人 公認会計士 |
| 平井 隆 氏 | 税理士法人 Alchemist 代表社員 |
| 山口 大貴氏 | 株式会社インスパイアクロス システム部 Leader |

<事務局>

| | |
|-------|---------------------|
| 坂口 賢一 | 東京IT会計専門学校杉並校 校長 |
| 石橋 三男 | 東京IT会計専門学校杉並校 教務部課長 |

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

| 項目 | 評価・意見 |
|--------------------|--|
| <p>基準1 教育理念・目標</p> | <p>イ. 理念、目的、育成人材像は定められているか</p> <p>学校の目標を「学校教育法に定める専修学校制度の趣旨に則り、ビジネスおよび情報処理に関する正しい知識と的確な技能を授け、もって職業や实际生活に必要な能力を養成し教養を向上させることを目的とする。」としている。さらに専門分野の特性が明確になるように学科ごとに目標も定め、ホームページに基本情報として情報公開しており学外に広く公表している。</p> <p>ロ. 学校における職業教育の特色は何か</p> <p>教育の特色は、本学独自の教育システムの「ゼミ学習」である。この学習システムにより各学科の目標とする検定試験等に高い合格実績をあげることができている。</p> <p>ハ. 理念、目的、育成人材像、特色、将来構想が学生、保護者等に周知されているか</p> <p>ホームページへの掲載やオープンキャンパスでの説明など、学生・保護者等に周知されている。</p> <p>ニ. 各学科の教育目標、育成人材像は学科等に対応する業界ニーズに向けて方向づけられているか</p> <p>育成人材像が業界のニーズに向けて方向づけられるように、毎年開催する学内就職セミナーや教育課程編成委員会を通して業界のニーズを把握し、ゼミ学習を通じて日々学生を指導している。</p> <p>基準1についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>「学生時代にゼミ学習を体験して、コミュニケーション能力が養えたと感じている。その中でも、教える側に立った時の経験は、現在仕事でお客様にわかりやすい表現で理解してもらえるように話すということに非常に役立っている。」</p> |
| <p>基準2 学校運営</p> | <p>イ. 目的等に沿った運営方針が策定されているか</p> <p>各学科の目的等を達成するために「学生から信頼され支持される学校づくり」を基本目標としており、教務室、事務室、就職相談室、受付などに掲示して、また繰り返し教職員に伝えている。</p> <p>ロ. 運営組織や意思決定機能は規則等において明確化され機能しているか</p> <p>運営組織図があり、それに従って運営されています。各部署には学校の目標達成のために数値目標が明確にされており、各部署の役割と権限、人的体制が十分に整っています。運営組織や意思決定機能は効率的なものになっている。</p> |

| | |
|-----------------|--|
| | <p>ハ. 人事制度や組織整備がなされているか 人事や賃金での処遇に関する制度については、採用制度、昇進・昇給制度、賃金制度、人事考課制度を整備している。</p> <p>二. 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか 日常的な意思決定は管理職が行っており、学校間の調整は企画本部や学園協議会で行っている。また、理事会、学園協議会、責任者会議、課会議といった意思決定プロセスが制度化され、その権限を明確にしている。</p> <p>ホ. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか 資格取得実績や就職実績は、その都度ホームページで公開し、速報を作成してオープンキャンパス等で入学希望者に配布している。さらに本人了承のもと氏名や出身高校を載せているので、志望者や保護者が判断する際にも役立つ。</p> <p>ヘ. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか 情報システムについては、学務システムと経理システムを個々に運用しており、就職部は求人情報をデータベース化して業務の効率化を図っている。学務システムは仮想プライベートネットワークを全拠点で結び、セキュリティを強化して運用している。また、全教職員にパソコンを貸与し、業務改善に取り組んでいる。</p> <p>基準2についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 「ゼミ学習を通じて合格・就職がしっかりと行われている。さらに、きちんとした信頼性のあるデータに基づいた実績であるため安心できる。」</p> <p>(2) 「公開されている情報についてはときどき拝見するが、合格実績や就職実績の人数を見るとインパクトがありその数の多さに驚くばかりである。」</p> <p>(3) 「HPを見ると、教育内容はもちろんだが地域貢献など学校内外での活動についてもよりよい学校を目指し、常に改善活動に取り組む姿勢に感心させられる。」</p> |
| <p>基準3 教育活動</p> | <p>イ. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか カリキュラムは、教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考にカリキュラム作成委員会を開催し、定期的な見直しを行っている。授業はゼミ学習を取り入れており、知識をより確実にするばかりでなく、積極性、表現力、コミュニケーション能力などの人間性も育成している。</p> <p>ロ. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか 官公庁および企業からのアンケートを基にした「社会が求める人材像」を</p> |

学生に明示しており、学生が専門的知識や技術を持った上で、多岐にわたる業界や職種の人材ニーズに対応できる教育を実践し、修業年限で「社会が求める人材像」のレベルまで達するよう指導している。また、公認会計士や税理士などの超難関資格を目指す学生には研究学科への進学を可能とし、さらにレベルアップできるようにしている。

ハ. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか

カリキュラムは、年2回開催する教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考に、カリキュラム作成委員会において社会のニーズに対応するために必要な科目を体系的に編成している。

ニ. キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか

専門知識や技術以外にもビジネスマナー、コミュニケーション能力などを育成するキャリア教育を実践するため、該当する授業科目を設置し、また企業の人事担当者による学内就職セミナーも実施している。また、現在ほぼすべての学科で職業実践専門課程の認定を受け、企業等と連携した実践的な演習を行っている。

ホ. 授業評価の実施・評価体制はあるか

学生による授業評価アンケートを実施している。また教育課程編成委員会での外部委員の意見を取り入れている。

ヘ. 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

学則、専門課程便覧にその基準を明確に定め、学生にも周知徹底し、厳正に行っている。今年度よりGPAを算出し学生の成績をより明確に把握している。

ト. 資格取得の指導體制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか

各学科で目標とする資格・試験を明確に定め、カリキュラム編成をし、試験終了後見直しをしている。各学科でシラバスを作成し、適正な配置を行っている。

チ. 人材育成目標に向け、授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

専門性、人間性、教授力等の諸要件を備えた人材の確保はできている。

リ. 教員の能力開発のための研修などが行われているか

教員の専門性や教授力等を常にレベルアップするため、年間を通じての自己啓発研修や企業等との連携により最新の動向を取り入れる研修を行っている。

基準3についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の

| | |
|----------|--|
| | <p>意見があった。</p> <p>「真面目な学生が多いという印象がある。これは、学生さんたちが明確な目標を持ち日々の生活を送っていることの表れだと思う。」</p> |
| 基準4 学修成果 | <p>イ. 就職率の向上が図られているか</p> <p>ロ. 資格取得率の向上が図られているか</p> <p>前年の実績と今後の動向を踏まえ翌年の教育方法と科目編成を行っている。就職率及び資格取得率についてはともに向上が図られている。</p> <p>ハ. 退学率の低減が図られているか</p> <p>担任をはじめ各学科の教員が学生全員に目を配り、声をかけて退学率の低減を図っており、欠席した学生には担任が電話連絡して欠席が長期にならないようにしている。また、学生相談室を設置しており、担任以外にも相談できるようにしている。</p> <p>この基準4についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見及び質問があった。</p> <p>(1) 「毎年継続して現役合格者を輩出していることは、大変なことだと思う。ただ、以前と比べると受験者の減少とそれに伴う合格者数の減少が感じられるが、資格に対する関心が薄れているのではないか。」</p> <p>【回答】</p> <p>資格に対する関心が薄れているわけではないが、以前と比べると各試験の難易度も飛躍的に上がり、現役で最終合格まで勉強せず就職する学生も少なくなっている。</p> <p>(2) 「合格率や就職率が高いのは、先生方の努力の表れだと感じる。」</p> <p>(3) 「コロナの影響でモバイル環境の構築が急速に進んだ中で、企業全体を管理できるシステム管理者のニーズが高まっている。ネットワーク、セキュリティ等に長けた人材の育成が重要になってくる。」</p> |
| 基準5 学生支援 | <p>イ. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか</p> <p>就職担当者およびクラス担任が学生の就職相談、履歴書の書き方、就職先の選択、会社訪問、面接対策などの指導を行っている。企業の人事担当者を招き学内就職セミナーを実施している。</p> <p>ロ. 学生相談に関する体制は整備されているか</p> <p>学生の相談はまずクラス担任にするが、その他にも学生相談室を設置し相談できる体制をとっている。</p> <p>ハ. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか</p> <p>特別奨学生試験、各種特待生制度、経済的理由による修学支援奨学生制度や延納制度を設けており、奨学金はすべて貸与ではなく給付としている。</p> |

| | |
|-----------------|---|
| | <p>ニ. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか 学校保健安全法に基づく健康診断を全学生に実施している。また、指定病院が学生の健康相談などに応じている。</p> <p>ホ. 課外活動に対する支援体制は整備されているか クラブ活動や、体育祭、学園祭、球技大会などの課外活動が盛んであり、これらを学生主体で実施し、教職員が助言、指導をしている。</p> <p>ヘ. 学生の生活環境への支援は行われているか 学生寮運営に実績のある会社の寮を学校提携寮として学生に紹介している。</p> <p>ト. 保護者と適切に連携しているか 出席状況、成績表、相談室のお知らせ等を年に4回送付している。また、必要に応じて保護者と面談も実施している。</p> <p>チ. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか 無料で高校生の民間就職支援、公務員採用試験受験指導、情報処理セミナー、簿記セミナー等を開催し、多くの高校生が参加している。</p> <p>この基準5についての自己評価は委員の方々から「適正」と評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 「保護者という立場から、就職相談室は有効であったと思う。また、年4回の出席状況等の送付や何かあったときの電話連絡等は非常にありがたかった。」</p> <p>(2) 「学生時代には、普段は勉強に集中し、キャンパスライフでリフレッシュでき、また勉強に集中することで、いい時間が過ごせた。」</p> |
| <p>基準6 教育環境</p> | <p>イ. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか 設置基準に教育上支障がないように整備されている。ただし、できる限り最新の器材にしていきたいと考えている。</p> <p>ロ. 防災に対する体制は整備されているか 防災指導担当者を校務分掌一覧に規定し、定期的に防災訓練を実施し、教職員、学生に防災に対する意識の喚起を行っている。しかし、大規模災害等何が起こるかわからない状況を考え、今後も改善をしていく。</p> <p>この基準6についての自己評価は委員の方々から「適正」と評価され、次の意見があった。</p> <p>「防災に関しては、ひとつの学校の問題だけではなく地域全体として取り組まなければならない重要な問題である。学校の周辺は住宅が密集していてとても危険</p> |

| | |
|---------------|--|
| | な地域であるため、地域防災との連携があるとなおよいと思われる。」 |
| 基準7 学生の受け入れ募集 | <p>イ. 学生募集活動は、適正に行われているか</p> <p>ロ. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか</p> <p>公認会計士試験、税理士試験、情報処理技術者試験などの高度な試験合格においては、信ぴょう性を確保するために本人の了承を得て合格者情報に氏名・出身校名を載せており、入学者に対するアンケートにおいても、卒業生の活躍する教育成果が進路を決定する上で大いに参考になったとの数多くの回答を得ている。</p> <p>ハ. 学納金は妥当なものとなっているか</p> <p>学納金に関しては学校の財政基盤の問題がでないように適正かつ妥当な金額に設定されている。</p> <p>この基準7についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 「試験合格の情報は、単年の情報の方が最新情報であるため有効だと思われる。」</p> <p>(2) 「氏名や出身高校を具体的に提供していることは、情報の真実性が高まり信用できる情報だと感じる。」</p> |
| 基準8 財務 | <p>イ. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</p> <p>ロ. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</p> <p>ハ. 財務について会計監査が適正に行われているか</p> <p>ニ. 財務情報公開の体制整備はできているか</p> <p>財務全般については、少子化傾向が続く中、財政基盤を中長期的に安定させていく必要がある。予算の編成及び執行に関する規程は、寄附行為、経理規程に定められている。予算の編成は適切な手続きを経た上で確定し、予算を執行している。会計監査については、監事2名が事業説明を受けて、財産目録、貸借対照表、収支計算書によって会計監査を実施している。その結果を監査報告書に記載し、理事会及び評議員会へ報告している。私立学校法第47条に基づき、財務情報として財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書、監事監査報告書を作成し、公開している。さらに、ホームページ上では事業の概要、財産目録、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、監査報告書を公開している。</p> <p>この基準8についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見及び質問があった。</p> <p>「財務情報をHPで公開していることははじめて知ったが、学校を判断する上で</p> |

| | |
|-----------------------|---|
| | 重要な指標の一つとなるためとても良いことだと思う。」 |
| <p>基準9 法令等の遵守</p> | <p>イ. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</p> <p>「学生から信頼され支持される学校づくり」を基本目標に、教職員には毎年人権研修の受講を義務付けるとともに、法令遵守規程を作成し施行している。</p> <p>また、法令遵守推進管理者をおき、法令遵守の推進を図っている。</p> <p>ロ. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</p> <p>個人情報保護に関しては、個人情報保護規定、プライバシーポリシーを設定している。学園の保有する個人情報を委託業者に取り扱わせる際には、覚書等で保護の徹底を行っている。また、国家試験等の合格情報や就職実績の情報を氏名や出身校名を出して掲載する場合には、教職員より学生に趣旨を説明し、文書にて承諾を得た旨記録し、個人情報を取り扱っている。</p> <p>ハ. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか</p> <p>ニ. 自己評価結果を公開しているか</p> <p>「自己点検・自己評価委員会」を設置し、自己点検・自己評価を行っており、その結果についてはホームページに公開している。今後も自己評価を実施して問題点を分析し、より良い改善をしていく。</p> <p>この基準9についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見及び質問があった。</p> <p>「昨年度は情報セキュリティ研修を実施していないが、今年度は実施する予定はあるか。また、昨年度の研修後、理解したのか確認は行ったのか。」</p> <p>【回答】</p> <p>今年度は、具体的な実施予定は未定であるが、重要な問題であるため実施すべきだと考えている。また、研修後の確認は日々の業務の中で行っている。</p> |
| <p>基準10 社会貢献・地域貢献</p> | <p>イ. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</p> <p>ロ. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか</p> <p>ハ. 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか</p> <p>社会貢献・地域貢献全般については学生のボランティア活動を奨励し、支援している。学生は近隣の道路清掃をしており、その清掃活動は近隣からもとても好評である。また、地域のお祭りへの参加等、その地域の状況に応じて社会貢献・地域貢献ができています。しかし、地域の方々に対する学校独自の公開講座等はないためその点はやや不適切である。</p> <p>この基準10についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> |

| | |
|--|--|
| | <p>(1) 「高円寺地区では非常に貢献してもらっている。特に「高円寺フェス」においては、本学の学生による「高円寺エール」を皮切りにフェスがスタートし、とても評判が良い。ただ、地域への貢献も大切であるが、勉強を中心に考えて頑張してほしい。」</p> <p>(2) 「墨田区主催のイベントに、高校ではボランティア活動として参加しているが、同じイベントに参加している専門学校の学生たちは非常に活気があり、その貢献度は非常に高いものと思われる。」</p> |
|--|--|

〔総括的な意見〕

すべての評価項目の評価について妥当となっている。

特に学生の合格実績、就職実績については学生の期待に応える十分な結果を出しており、これは何より学生からの信頼に応えるために先生方が努力されている賜物だと感じる。

また、学生時代に勉強し取得した資格は、社会に出てからも必ず活きると思うので是非とも継続して合格実績を出して行って欲しいし、学生にも伝えて行って欲しい。

ただし、勉強や資格だけではなく、より一層社会で活躍するためには人格や人柄といったものが最重要であると感じるため、人間性教育という部分も今までと同様に力を入れて有意な人材育成をお願いしたい。

卒業生も入社後にはゼミ学習を通じて養われたコミュニケーション能力を発揮し、お客様とも友好的な人間関係を築き即戦力として活躍してくれている。